



スマイルバス



ゆうゆうバス



やまぶきバス



ニコニコ号

皆さんの移動手段を確保します!!

10月1日より、奈良交通の路線バスが廃止となり、幹線（国道）を走る公共バスは「やまぶきバス」、「スマイルバス」、「ゆうゆうバス」の3種類となりました。他にも、「ニコニコ号」「やまぶきタクシー」がありますので、是非ご利用ください。

● 主な内容 ●

マイナンバー制度	2・3
第4回川上村議会	4～6
公共交通	7
川上ing作戦	8・9
未来への風景づくり	11



広報かわかみ

平成27年10月13日発行

発行 奈良県川上村

編集 川上村広報編集委員会

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7

TEL. 0746-52-0111

ホームページアドレス <http://www.vill.kawakami.nara.jp>

メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp

川上宣言

一、私たち川上は、川上における自然とのつきあいが、地球環境に対する人類の働きかけの、すばらしい見本になるよう努めます。

（川上宣言は全部で5つの項目になります。
（毎号1項目ずつ掲載していきます。）

マイナンバーカードの申請方法

川上村では下記2通りの方法にて申請をすることができます。

申請は任意ですが、この機会にマイナンバーカードの申請をご検討ください。

※詳しくは広報9月号に折り込んだ「マイナンバー制度が始まります」をご覧ください。

役場窓口で申請後、郵送で受け取る場合

郵送で申請後、役場窓口で受け取る場合

- ① 下記必要書類を持参の上、役場窓口までお越しください。

必ず申請者本人がお越しください。



- ② 窓口で本人確認の上、交付申請書と暗証番号設定申請書を提出して頂きます。



- ③ 平成28年1月以降に順次、マイナンバーカードを本人限定受取郵便にて送付します。

申請時に必要な書類はこの5つ!!

<役場来庁（申請）時に持参するもの>

- ・マイナンバーカード交付申請書
（通知カードと一緒にご家庭に届きます）
- ・顔写真（縦4.5cm×横3.5cm 最近6ヵ月以内撮影、無帽、正面、無背景のもの）
- ・本人確認書類（※）
- ・通知カード（回収させていただきます）
- ・住民基本台帳カード（お持ちの方のみ、申請時に回収・廃止となります）



役場住民福祉課で証明写真（顔写真）の撮影も行いますので、是非ご利用ください。



- ① 「マイナンバーカード交付申請書」に、顔写真を貼り付け、返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

- ② ※スマートフォン等を利用したWEB申請もできます。



- ③ 平成28年1月以降に順次、「マイナンバーカード」の交付準備が整うと、ハガキで交付通知書を送付します。



- ④ 下記必要書類を持参の上、役場窓口までお越しください。本人確認の上、暗証番号を設定し、「マイナンバーカード」を交付します。

必ず申請者本人がお越しください。

<役場来庁（受取）時に持参するもの>

- ・マイナンバーカード交付通知書
（交付準備が出来次第、役場よりお送りします）
- ・本人確認書類（※）
- ・通知カード（回収させていただきます）
- ・住民基本台帳カード
（お持ちの方のみ、回収・廃止となります）

※本人確認書類は、運転免許証、パスポート、在留カードなど顔写真付きの公的な身分証明書のうち1点、これらをお持ちでない方は、健康保険証、年金手帳、社員証、学生証、預金通帳、医療受給者証等のうち2点が必要になります。

※未成年者・代理人による申請方法については通知カードと一緒に送りする案内をご確認ください。

【問い合わせ先】

マイナンバーに関するお問い合わせ専用コールセンター TEL 0570-20-0178

川上村での通知カード・マイナンバーカードに関するお問い合わせ 役場住民福祉課 TEL 52-0111

第4回 川上村議会定例会

平成26年度決算などが可決、認定される

9月14日から24日にわたり第4回川上村議会定例会が開かれました。平成26年度一般・特別会計決算や平成27年度一般・特別会計予算補正などについて審議され、いずれも可決・認定されました。また、塩谷章次議員、松本博行議員、泉谷隆夫議員から一般質問が行われました。

◎専決処分の承認を求めることについて

◆平成27年度一般会計予算補正
歳入歳出予算額は29億3千6万4千円となりました。これはミラノ（イタリア）で開催された国際博覧会に係った費用が主な内容です。

◎村個人情報保護条例の一部改正について

番号法の制定に伴い、特定個人情報に対する必要な保護措置を講ずることや保有個人情報の開示請求権者を追加することなどが主な改正の内容です。

◎村手数料条例の一部改正について

住民基本台帳法の一部が改正されたことに伴い、手数料の規定を削るための一部改正などが主な内容です。

◎村コミュニティバス運行条例の一部改正について

吉野町のコミュニティバスとの連携に伴い、やまぶきバスの利用料金を改正することが主な内容です。

◎村スクールバスの住民利用料金徴収条例の一部改正について

やまぶきバスの利用料金の改正に伴い、スクールバスの利用料金を改正することが主な目的です。

◎平成26年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

一般会計決算は5ページ、特別会計決算は6ページの通り認定されました。

◎平成27年度一般会計予算補正について

既定の歳入歳出予算に、それぞれ3,092万7千円を追加し、29億6,099万1千円となります。

した。

これは、吉野かわかみ社中負担金やマイナンバー関連のシステム改修を行ったことが追加されたことが主な内容です。

◎平成27年度村国民健康保険事業特別会計予算補正について

事業勘定の既定の歳入歳出予算に、それぞれ495万円を追加し、2億6,878万円となりました。直営診療施設勘定の規定の歳入歳出予算に、それぞれ571万5千円を追加し、1億953万5千円となりました。これは電子カルテ導入に係る費用が追加されたことが主な内容です。

◎平成27年度村歯科診療所特別会計予算補正について

既定の歳入歳出予算に、それぞれ9万8千円を追加し、956万8千円となりました。診察室のエアコンの入替に伴う費用が追加されたことが主な内容です。

◎平成27年度村介護保険事業特別会計予算補正について

既定の歳入歳出予算に、それぞれ

れ9万8千円を追加し、2億7,129万8千円となりました。職員給与費が追加されたことが主な内容です。

◎村教育委員会の教育長の任命同意について

弓場盛正教育長の任期が9月30日に満了となることから、新たに同氏の任命を求めたことが主な内容です。

◎村選挙管理委員会の委員、同補充員の選挙について

村選挙管理委員会の委員、同補充員の任期が10月27日に満了となることから、選挙を求めたことが主な内容です。

◆決算報告◆

平成26年度の一般会計決算は歳入決算が28億5,358万4千円で歳出決算が25億6,285万5千円となり、翌年度に繰り越す財源946万6千円を差し引いて実質収支額が2億8,126万3千円となりました。

【歳入歳出の決算状況】

今年も5ページで村の予算を家計簿に見立て、6ページには円グラフで割合を表しました。

川上村の家計簿

平成26年度 一般会計決算

人口 1,576人（平成27年 3月31日現在）

歳入総額

28億5,358万4千円

村税 1億7,554万7千円

村民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税

**地方贈与税及び各種交付金
3,827万5千円**

地方消費税交付金・自動車取得税交付金など

地方交付税 14億6,352万5千円

地域による経済格差を埋めるために国が徴収した税金の中から地方に配分するもの

**国・県支出金
2億9,573万9千円**

事業を行った際に、国や県から貰える負担金や補助金

財産収入 2,780万円

土地や建物の財産を運用して得たお金
利子・配当金を含む

寄附金 1,042万5千円

一般・川上応援・図書整備寄付金

繰入金 1億5,170万円

ふるさと創生基金・水源地保全基金等から繰り入れたお金

繰越金 3億53万3千円

前年度から繰り越したものの

諸収入 7,091万4千円

預金利子や奨学金の返還

村債 3億450万円

施設整備などのために借りたお金

その他 1,462万6千円

分担金及び負担金・使用料及び手数料など

歳出総額

25億6,285万5千円

議会費 5,470万5千円

議員活動事業、議会運営など

総務費 5億7,833万7千円

庁舎などの管理運営、戸籍関係事務、選挙、統計調査、広報、防犯、防災対策など

民生費 4億774万4千円

年金、福祉手当、保育園の管理・運営など

衛生費 2億8,094万3千円

各種健康診断、予防接種、ごみ処理、狂犬病予防、環境基本計画など

農林水産業費 2億2,122万9千円

農業委員会、有害鳥獣駆除、林道関係、治山

商工費 2億2,363万8千円

観光PR、登山道整備、木工センターの運営管理、木匠館の運営管理など

土木費 1億7,666万1千円

道路、橋、河川、村営住宅の管理など

消防費 1億2,530万円

消防団の運営、吉野広域組合への負担金、消防施設整備、山岳救助など

教育費 2億7,438万1千円

小・中学校、図書館、スポーツ公園の運営管理、生涯学習、文化財の保護など

災害復旧費 973万2千円

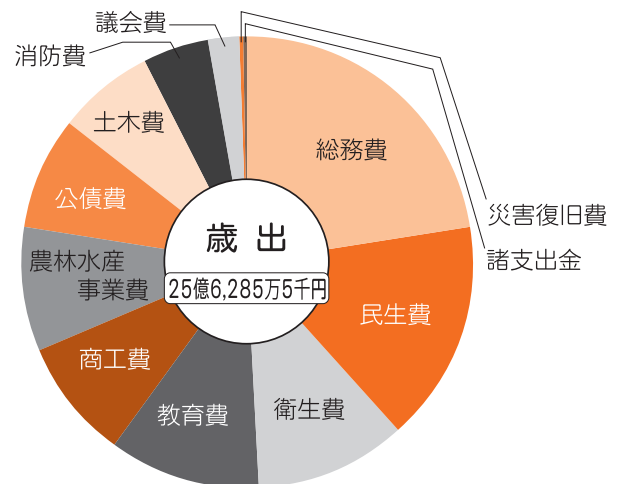
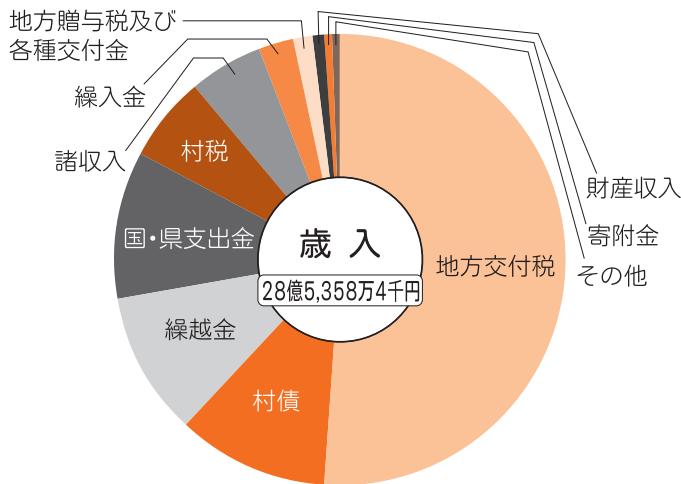
農林災害復旧など

公債費 2億1,011万9千円

村債の返済に使われたお金

諸支出金 6万6千円

過誤還付金や返還金など



特別会計決算

川上村では9つの特別会計があります。決算は次のとおりです。

特別会計は一般会計とは別に設けられている会計で、それぞれの会計が独自に収入・支出を管理する会計のことです。

国民健康保険加入者の
1人当たりの費用

45万6,256円

後期高齢者保険加入者の
1人当たりの費用

6万3,413円

介護保険被保険者
1人当たりの費用

27万3,282円

各被保険者数
(平成27年3月31日現在)

国保 **507人**

後期 **544人**

介護 **906人**

村営林野事業

歳入額	473万4千円
歳出額	453万4千円
差引額	20万円

国民健康保険事業 (事業勘定)

歳入額	2億5,007万2千円
歳出額	2億3,132万2千円
差引額	1,875万円

国民健康保険事業 (直診勘定)

歳入額	1億690万6千円
歳出額	9,985万円
差引額	705万6千円

歯科診療所事業

歳入額	892万6千円
歳出額	840万5千円
差引額	52万1千円

水没者生活再建対策事業

歳入額	1,860万5千円
歳出額	1,400万円
差引額	460万5千円

簡易水道事業

歳入額	1億5,102万4千円
歳出額	1億4,559万8千円
差引額	542万6千円

介護保険事業 (事業勘定)

歳入額	2億8,434万6千円
歳出額	2億4,759万5千円
差引額	3,675万1千円

介護保険事業 (サービス勘定)

歳入額	170万8千円
歳出額	161万2千円
差引額	9万6千円

後期高齢者医療事業

歳入額	3,504万8千円
歳出額	3,449万7千円
差引額	55万2千円

10月1日からのバスの運賃や運行日について

	やまぶきバス	スマイルバス	ゆうゆうバス
ご利用できる方	どなたでもご利用いただけます。		
運賃	1乗車につき200円		距離制※
運行日	月曜～土曜日	月曜～日曜日	月曜～日曜日
運休日	日曜・祝日・年末年始	年末年始のみ	年末年始のみ

※地域公共交通パスポートと特別乗車券をお持ちの方（村内居住者のみに発行）は下桑原～大淀バスセンターの区間を200円で乗車することができます。
200円を超える分については村が負担します。

「ニコニコ号」を運行します!!

ニコニコ号は公共バスが乗り入れていない谷筋にあり、75歳以上の人口比率が高く最寄りの停留所まで一定の距離がある集落に運行します。ニコニコ号は支線から、幹線（国道）を走るバスに繋ぐよう運行します。

予約連絡先 080-2464-5151

対 象	対象の集落にお住まいの方
予約受付	平日午前8時30分～午後5時まで
受付期間	利用予定日の1週間前～乗車前日（平日）の午後5時まで
運行方法	完全予約制
運 賃	無 料
運 行 日	各地区（詳細は下記のとおり）

運 行 日	乗 車 地	→	降 車 地
月 曜 日	筏 場	→	入之波バス停
火 曜 日	井 光 ・ 武 木	→	武 木バス停
水 曜 日	中 奥 ・ 粉 尾	→	白川渡バス停※
	下多古	→	下多古バス停
木 曜 日	大 迫 ・ 伯母谷	→	大迫口バス停※
	上 谷 ・ 神之谷	→	北和田口バス停
金 曜 日	高 原	→	杉の湯バス停

平日の時間外、土・日・祝日は
予約できませんので、
ご注意ください。



※9月号の広報で中奥・粉尾と大迫・伯母谷の降り場が記載漏れになっていましたので、再度掲載します。

やまぶきタクシーについて

村民の皆さんに限り、村内移動時にかかる費用の半額を負担する制度です。
残りの半額は村が負担します。

※他のタクシー事業者さんをご利用された場合は助成の対象となりませんのでお気を付けください。（一部例外を除く） **【予約連絡先】** 川上運送 TEL 54-0141

【問い合わせ先】 役場総務税務課 公共交通係 TEL 52-0111

少しずつですが、地域や学校に元気な声が増えています！

「川上iing作戦（役場若手職員プロジェクト）が3年目に突入」

平成25年から、9家族25人（内小学生以下は9人）の方が川上村に移住しました。今回は、村民・村内事業所の皆さんとの取り組みを紹介します。これからもご協力のほどよろしくお願いします。

村民の皆さんと魅力を発信

学校、保育園をより楽しく

若者の定住・移住を考えるプロジェクトがスタートして3年目になります。若者世代の定住、都市部からの移住が実りつつあります。

作業場も見学させていただきました



役場で会議を重ね、事業所で話を聞きます



「今日、9月に転入してきた児童が初めて校内放送をしたんです。大きな学校ではなかなかできない経験ですが、ここでは児童全員に役割があります。少人数の学校の利点でもあります。」と熊谷校長が笑顔で話してくれました。

時には学校で勉強会をしています



移住を検討している家族と村民の交流も



少しずつ増加している若年層ファミリーの移住ですが、決して行政だけの力でこのような結果がうまれていません。『仕事と住まいをセットで村の暮らしを紹介するプロジェクト』では、従業員を募集されている村内事業者の強力なバックアップを得て、平日休日を問わず職場案内をしていたいただき、実際にその事業所へ就職された方もおられます。

「保育園の様子は？ 買い物は？ 病気になるたら？」と子育て世代が一番気になる村での暮らしについては、村内の同世代家族との交流会を通じて情報交換をしています。

その結果、「村での生活イメージが湧きました。」「子育ての不安が減りました。」などの理由から移住を決められたご家族が多いと聞いています。

村民生活の充実を第一に 住み続けられる村をめざして

定住移住施策を進めるうえで何より大切なことは、今住んでいる村民の方々の生活の充実と考えています。

村では暮らしを支える事業を展開し、生活そのものを支えるために、次のような積極的支援に取り組んでいます。

・らくらく元気塾

みんなで楽しく介護を必要としない老後を過ごせるよう健康教室を行っています。

・総合検診

早期発見・早期治療、自分の健康状態を知ることができます。



元気なままで暮らせるように運動を

・へき地格差是正助成金
子どもたちの習い事に係る費用の一部を補助します。

・高等学校通学費補助金

村内から高校等へ通う子どもたちに対して通学に係る費用の一部を補助します。

・やまぶきバス

移動手段を確保するため、幹線（国道）を運行しています。

・産業振興支援補助金

事業の拡大や起業、既存商店のリニューアル等に係る費用を最大300万円まで支援します。



村内の事業所を応援

子育て世代の活動も 盛り上げています



子育て世代の交流会は毎回盛況

交流を深める。数少ない保護者同士の交流の場として、毎回50名以上の子育て家族が集まり、村での暮らしを楽しんでいます。



お父さん、お母さんも楽しんでいます

「川上村の子育て世代が楽しく交流できる時間を増やしたい！」というテーマで活動されている「ちびっこ増やし隊」では子育て世代の交流会として、お花見会やバーベキューを実施しています。赤ちゃんから高校生までの子どもたちが元気に遊び、お父さんお母さんはその様子を見守りながら



「頑張ります！」 栗山です」

我が村の子どもたちは、頼もしく心強いかぎりです。

先月13日、川上中学校の紅葉祭が開かれました。今年のテーマは「14人のフェスティバル。WE ARE 紅葉族」。

言うまでもなく少ない人数での「文化祭」でありましたが、その中身は濃く、迫力満点でありました。堂々たる意見発表、豊かな表

現力、工夫された演出、手際のよい段取り等々、子どもたちの「確かな能力」を満喫しました。

これらは、日々の学校生活の中で、先生と子どもたちの信頼と絆により培われたものであると確信しました。小規模校のハンディーをものともしない我が川上中学校に、あらためて大きな拍手です。

来年は、この子どもたちの「たぎるエネルギー」を村民の皆さんとともに共有したいと思っています。是非、一緒に出かけましょう。

村内一斉防災訓練を実施

9月12日に、村内で防災訓練が行われ、村民約700人が参加しました。この訓練は平成23年の紀伊半島大水害や昨年の広島県での水害等大雨による土砂災害が相次いでいることから、防災体制の強化や住民の防災意識の高揚を図ることを目的です。

訓練終了後、東川公民館で奈良県砂防ボランティア協会の谷口氏と奈良県砂防・災害対策課漕江氏による講演会が行われました。講演では大雨や台風により発生した



災害時に備え、気になることを質問していました

土砂崩れの映像を交えた説明があり、集まった村民からは五社トネルの安全面についての質問などが出ました。

清流

私たち一家は中奥に住居を移して4年が過ぎました。

移住した初年度、保育園に通う娘の同級生は二人でした。少子化・過疎化の現状を知り、危機感を感じた父兄たちが集まり、「ちびっこ増やし隊」と名付け毎月長時間に渡り、真剣に話し合いを行ってきました。今なお、子育て世代の悩みは尽きません。移住者の多い娘のクラスの母たちが集まれば、我が子の話より村について語り合い、村のため、子どもたちのために自分たちに何が出来るかを実践に考えています。

現在小学生の全校生徒は23名。娘の学年は奇跡的に毎年一人ずつ増え、計6名になりましたが、他の学年は減っているのが現状です。移住を促進していく上で、子育て世代や移住者の意見の中にはたくさんヒントが隠されていると思います。役場に御意見箱を設けたり、広報にご意見コーナーを作ってみるのはいかがでしょう。私は親切なご近所さんに恵まれ、学校の仲間やヨーガの生徒さんと出会い、相談相手も出来まし

たが、見ず知らずの地に来て、一番心強いのは話を聞いてもらえる人がいることです。役場の中に相談係やお世話係など、移住者が入った後のケアを考えてもらえる取り組みがあれば有難いと思います。

村でヨーガを教えて3年目になります。生徒の数は年々増え、私はまさにこの為に導かれたのだと思っています。真面目で熱心で頑張り屋の生徒さんに恵まれ、私は幸せな先生であると感謝しています。今年から、中奥のシニアの方を主としたクラスを始めました。年齢を重ねてから新しい事に挑戦するのはとても勇気が必要なことなのに、中奥の皆さんはまず挑戦しようという前向きで一生懸命な姿で頑張っておられるので、逆に私の方が元気を与えていただいているような気がして感動しています。

「なぜ中奥に？」とよく聞かれます。交通は不便ですが、住めば都。どんなに奥に暮らしていても出かける気になれば出かけられます。遠方に出かけ、帰りに中奥道を通るとほんと安心する私たちがいます。中奥に住めてよかった。中奥が好きです。

納田 沙紀

大和ハウス&ならコープが合同実施

「未来への風景づくり」植栽手入れ作業

9月12日(土)、「未来への風景づくり」プロジェクトにて、協賛企業である大和ハウス工業(株)と、市民生活協同組合ならコープによる、合同での植栽の手入れ作業が実施されました。総勢約100名を超える関係者らが、それぞれの協賛区画において、先日植樹したヤマザクラなどの苗木のまわりの雑草の除去などを行いました。また、当日はグループに分かれ

て自然観察会も実施。講師に和歌山大学大学院より古山暁博士(専門はトンボ)をお招きし、植生や虫たちの生態をとおして、変化していく旧白屋地区の自然環境などについて学習しました。当日は晴天に恵まれ、参加者らは、おおたき龍神湖を見下ろす景色を堪能しながら、水源地の村の景観保全に汗を流しました。



びっしりと茂ったカヤの除去に奮闘しました

水のつながりプロジェクト

源流体験

9月11日に大和平野土地改良区と川上村による「水のつながりプロジェクト」を実施。川上小学校4・5・6年生と榎原市立香久山小学校5年生が吉野川の源流体験として音無川(西河)で、生き物採取と自然環境について学習しました。県水生生物研究会会長の谷幸三氏の指導のもと、カジカガエルやオオヤマカワゲラなどきれいな水に生息する生き物11種が確認されました。両校の児童は6月に榎原市内で共に田植え体験をしており、今月には稲刈りを通じてさらに交流を深める予定です。



採取した生き物について谷先生が楽しく解説してくれました

村営住宅入居者募集

村営住宅(宮の平1戸)の入居者を募集します。

○住宅の概要

建築年度 平成13年
構造 鉄骨造2階平屋

○申込受付期間

10月15日(木)～30日(金)
(土・日・祝を除く)
8時30分～17時15分

○家賃

収入に応じて決定(4万円迄)

○入居可能時期

平成27年11月上旬予定

※その他詳細は左記にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

地域振興課 TEL 52・0111

地域振興券のご利用は

11月16日まで!

有効期限を過ぎますと無効となり、使用できなくなりますのでご注意ください。引換がまだの方は至急お済ませください。

【問い合わせ先】

定住促進課 TEL 52・0111



木匠塾サマースクール

川上村木匠塾は平成10年に活動を始めてから、今年で18年目を迎えます。参加する学生たちは、村や住民からの要望を参考に、私たちでは思いつかないような新しい発想でさまざまなものを制作してくれました。

今年は8月15日～21日に、恒例の「木匠塾サマースクール」が実施されました。

今回のサマースクールには大阪工業大学、滋賀県立大学、大阪芸術大学、奈良女子大学、近畿大学から、70名の学生が参加しました。



今年は、2チームに分かれ、☆モニユメント（迫・農協前）☆木匠ベルト

（白川渡・オートキャンプ場）の制作を行いました。

4月から設計や基礎工事といった準備を行い、8月のサマースクールで制作に取り組みました。

サマースクール期間は猛暑や大雨の日が多く、作業するには厳しい環境でした。作業が予定どおりに進まず、苦勞する場面も多くありましたが、力を合わせて一生懸命取り組みました。

皆さんも機会がありましたら、これらの作品をご覧いただければと思います。



第18代川上村木匠塾代表幹事

木下 潤一（滋賀県立大学）

今年度で18回目の活動となった川上村木匠塾。今年度は大阪工業大学、大阪芸術大学、近畿大学、滋賀県立大学、奈良女子大学の5大学で活動を行いました。約半年間の活動を通して吉野林業や川上村の自然に触れ、設計から施工まで物作りを学生主体で行いました。今年度はモニユメント（役場前）、木匠ベルト（白川渡オートキャンプ場）の2つを制作いたしました。

僕自身は木匠塾への3回目の参加になりました。1年目、2年目、3年目と年を重ねるにつれて、より深く木匠塾に、そして川上村に関わらせていただきました。今年度、代表幹事という立場でサマースクールまで終えて一番に感じたことは木匠塾という活動は村の方々の協力があったの活動だということ。昨年度まではどうしても制作物を作ることに意識がいきがちだったのですが、川上村に制作物をつくらせていただいていること、制作するにあたってたくさんの方々に協力していただいたこと、という村の方々とつながりがあるこそ続いている活動で

あると再認識した一年間でした。半年間、助けていただいていたばかりでしたが、サマースクールで村の方々や先生方の協力、塾生のみんなの努力でなんとか制作物は完成しました。本当に感謝しています。ありがとうございます。

これから学生と川上村とのつながりがずっと続いていけばと思います。

最後になりますが、もし時間がありましたら私達の作品を見ていただけたら幸いです。

来年度以降も、川上村木匠塾をよろしく願っています。





かみせ祭り (夏の思い出)

8月15日役場前にて、かみせ祭りが行われました。前日から商工会の皆さんが舞台を設置し、当日は多くの人が訪れるなか、一生懸命進行していただきました。

また、祭りを開催するにあたり、多くの方よりたくさんの方の寄附金をいただきました。皆さんの思いが詰まった「祭りの思い出」を写真で振り返ります。



かわかみことば特集

各地区の方言を紹介するにゃ～

柏
木
編

山 言 葉

- ひふちん 日当
- ひふひゆう 山で仕事をする人
- ひまう (仕事を) 終える

最近テレビで全国各地の方言が取り上げられ、ドラマなどでも昔なつかしい言葉が語られています。もちろん私達の村でも、昔の言葉で話されている方がいます。

広報編集委員会では、温もりのある方言を大事にし、先人から伝えられた文化を後世に残すため、各大字を訪問し、取材をさせていただきました。

隣近所の貴重な語り文化としていつまでも残される事を願います。

(尚、昔から伝わる方言の性質上、そのまま掲載致しました)

方言クイズ

何のことかわかるかな？

- ほたら
- やれきょうたふ

※答えは特集の中にあります

食 べ 物 や 草 木

○ ひきひき	ホットケーキ
○ ふまし	麦をふかして炊いたもの
○ ねぐさる	(煮物などが) 腐ること
○ もみない	まずい
○ はたく	(米などを) 粉にすること
○ まいかけ	三度の食事のこと
○ かむかむ	食後すぐ
○ がんじ	丸禁
○ おやまぐさ	ひゃが
○ ちんちろ	松笠
○ ちょっぴな	野かんぞうの若菜
○ めつきばな	柊
○ なきな	花筏
○ ベベ	犬櫃の実
○ びりびり	のびる

家 庭 と 生 活

○ たなもと	流し台 (水場)
○ ながたん	菜切り包丁
○ てねぶり	味見
○ ふぎ	布団
○ あさぶら	雪駄

※他にもさまざまな言葉を伺いましたが、他の地区と被るものや一部の言葉は除かせていただきました。聞き取りをしていくうちに、同じ村の中でも個性のある言葉があるんだなと感心しました。

ご協力いただいた語り部の皆さん、本当にありがとうございました。 広報編集委員会

語り部さん (敬称略)

辻 谷 達 雄
中 谷 慶太郎
岡 本 慶 志
浦 本 嵯恵子

日 常 会 話

○ こおっと	さてど
○ ほたる	そしたる
○ ～にゃあ	語尾につく言葉
○ あぼて	かばって
○ たぼどく	残しておく
○ どだいのきけた	大変疲れた
○ けなりいふ	羨ましのわ
○ わがめら	自分たち
○ とびかえった	びっくりした
○ あがなもん	そんなもん
○ さーふ	考えるときの言葉
○ ばばいふ	まぶしのわ
○ もだく	家を建てたり、直したり
○ せえへん	ひない
○ ベったり	おなじこと
○ へたかる	座る
○ やれきょうたふ	びっくりした
○ またい	にぶい
○ やたけた	いのかけん
○ めっそ	おおよそ
○ ぼてくる	小言をいう
○ やぶちゃ	家中みんな
○ ひやくる	徘徊する
○ わけ	めちゃくちゃ
○ となりこき	他人の家で長居する
○ ひがひ	弱い
○ せんぐりせんぐり	だんだん
○ ひまろ	壊れる
○ どだひひやひ	大変寒い
○ けつついて	後に続いて
○ ころっと	全然
○ おひやん	おじさん

教育かわかみ

第33回 教育長通信

◇教育先進校視察研修

～教育委員会・小学校・中学校合同で実施～

去る9月29日（火）村教育委員会主催の教育先進校視察を実施しました。当日は、榎田委員長、土井・上村委員、小学校から梶谷宙志・辻本舞美先生、中学校から山崎正悟教頭先生、山口幸夫・片岡敬詞先生の参加があり、今後の村上村の新たな教育構築に向けて共に研修に取り組みました。目標は同じながら、異なる立場から積んだ研修は得たものも多く、有意義であったと感じています。



◇和歌山県紀美野町立毛原小・長谷毛原中学校訪問

毛原小・長谷毛原中学校は、児童・生徒の減少から、平成24年4月に長谷毛原中学校校舎に小学生を移し開校した学校で、現在小学生14名、中学生4名合計18名、教職員数11名の高野山の麓にある小さな学校です。和歌山県は、複式授業に積極的に取り組んでおり、中でも毛原小学校の浦貴子教頭先生はその道の第一人者です。以前、奈良県教委が講師に招き、複式授業の講演会を開催した折、本村の教育委員も全員が参加しました。浦先生の語られる実践内容に感服して帰村したことを思い出します。



◇今回の研修について

今回の研修では、

- ①他県の小・中学校の児童生徒の学校活動視察
- ②複式授業参観
- ③幼・小・中・高等学校の連携
- ④授業のユニバーサルデザイン化の視察

を主に実施しました。

浦先生は、和歌山県の「授業のユニバーサルデザイン研究」の第一人者でもあります。授業のユニバーサルデザイン化とは、誰にでもわかる授業を作り上げる工夫を示す用語で、授業に臨む子供たちの誰もが満足できる授業内容を追及します。生き生きと目を輝やかかせて授業を受けている子どもたちの姿が印象的でした。



◇10・11月の学校の動き

11 (水)	10 (火)	9 (月)	6 (金)	5 (木)	4 (水)	2 (月)	31 (土)	30 (金)	29 (木)	28 (水)	26 (月)	25 (日)	24 (土)	23 (金)	22 (木)	21 (水)	20 (火)	19 (月)	16 (金)	15 (木)	14 (水)	13 (火)					
	家庭教育学級	ハロー英語	全校遊び		人権集会	ハロー英語		フッ化物洗口	家庭教育学級 スクールカウンセラー来校	全校スピーチ	ハロー英語		郡小陸上記録会	1年校外学習 集金日	尿検査	4・5・6年稲刈り 中間テスト①	就学前健康診断	生活点検	ハロー英語	全校遊び	フッ化物洗口 中間テスト1週間前 部活中止	秋の遠足	立哨指導	ハロー英語	2・4授業研究	〈小学校〉	〈中学校〉
3年三者懇談②	3年三者懇談①			防災訓練		全校登山	郡中学校駅伝大会				3年学力テスト	PTA会員研修日			尿検査												

今、学校で

9月13日(日)に、百名を超える方々にご来場いただき、第33回川上中学校文化祭「紅葉祭」をやまぶきホールで開催しました。

生徒たちは、限られた時間の中で精一杯準備し、一人一人がいくつもの役割を担い、14人が力を合わせて紅葉祭を成功させようと取り組んできました。

そして、自分たちで考え、作り上げたことを多くの方々を前に発表することができました。このことは、生徒の自信になり、更にによりよいものを作り上げていくとする意欲につながっていくものと確信します。

運営にご協力くださったスタッフの皆様や忙しい中、ご来場くださいました皆様方に感謝申し上げます。



14人のFESTIVAL!
WE ARE 紅葉族

学年発表

総合的な学習の時間の取組を発表しました。



1年生…福祉



2年生…職業体験



3年生…村の活性化策



弁論大会

5人の代表が、日頃の考えを発表しました。



英語スピーチ

- 1年生…自己紹介
- 2年生…社会見学
- 3年生…修学旅行

全校合唱



個人参加

漫才、マジック、歌を個性豊かに発表しました。



和太鼓演奏



展示発表

- 国語科の書写作品 ○理科の自由研究
- 美術科の作品(レタリング・漫画・立体) ○技術・家庭科の作品(工作・レポート・パペット・ティッシュケースカバー)
- 俳句 ○書道クラブの作品 ○ものづくりクラブの作品(七宝焼き、サンキャッチャー・カリンバ)



ご来場の皆様方には、アンケートを通して、生徒に温かいお褒めと励ましのお言葉をいただきました。ありがとうございました。お寄せいただきましたご感想・ご意見を今後に生かしていきたいと思います。

笑顔キラキラ

お友達が増えたよ

やまぶき保育園に新しいお友達が増えました。9月から年少組1名、年長組1名の2名が増え、にぎやかに元気いっぱい過ごしています。

在園児は新しいお友達を誘ってままごとをしたり、仲よく紙ひこうきを飛ばして遊んだり、さらには帰りの準備を手伝ってあげるなど優しい一面がみられました。

園児が増えたことにより、新しいお友達と過ごす楽しさや刺激を受けることで、一人ひとりがどのように成長するのか、これからが楽しみです。



新しいお友達と一緒にハイ、チーズ！

やまぶき保育園



カホンって、どんな音がするのかな～？

楽しい山の音楽会♪

平成25年から年2回保育園では、川上村で活動している山の音楽隊による音楽会が開催されています。ギターやヴァイオリンなど楽器の音になると耳を澄ませていた園児たち。今回はペルー発祥のカホンを叩かせてもらい、どんな音が出るかを体験しました。

学童保育に来ていた小学生もピアノやギターを弾かせてもらい、園児は「ねこのビート」を歌い、にぎやかな音楽会になりました。今回はクリスマス会で演奏してくれる予定ですが、どんな音楽会になるのか楽しみです。

かわかもんがゆく。

―地域おこし協力隊活動記―



9月から「かわかもん」に3名の仲間が新たに加わりました。村民の皆さんに村のことを教えていただきながら、先任の協力隊7名とともに活動していきます。よろしく願います！



ひろき 寛生 29歳
岩本 白川 住

出身は大河ドラマ「花燃ゆ」で話題の山口県萩市です。京都の大学に進学後、こちらにご縁をいただき参りました。

やまいき市に関わりながら、自分の立てた「志」を成し遂げられるように精一杯がんばります。



ひろき 寛生 33歳
西口 粉 住

出身は岐阜県関市です。協力隊になるきっかけは、川上村に来た



やすひろ 安田 芳裕 27歳
安田 西 住

時「おくどさん」に出会ってしまったからなんです。薪で炊いたごはんのおいしかったこと「川上村に住んでもいいかなあ」と思った瞬間でした。今は、その「おくどさん」のある粉尾の民家で、宿をオープンさせるべくがんばっています。

田原本町出身ですが、川上村は小学校の大滝ダム見学以来です。現在は西河で暮らしています。川上村の自然を活用したツアーを作りたいです。今は先輩協力隊が始めたエコツアー企画に参加しながら技術を磨いています。

住まいるネット移住者紹介

『川上住まいるネット』は村外の移住希望者の方へ空家を紹介する取り組みです。

ここ2年半の間に9世帯25名(内、子ども9名)の移住がありました。みなさん、村や地区の行事等にも積極的に参加してくれています。今回は本年3月に移住した吉田さんご家族(宮の平)を紹介します。

子どもが生まれてから大阪での暮らしに疑問を持つようになりました。

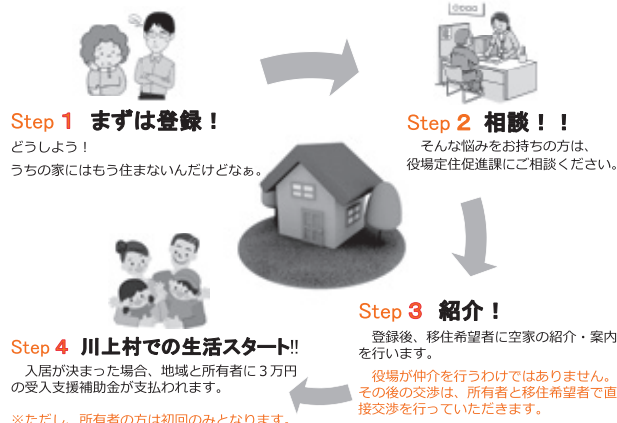
そこで川上住まいるネットへ登録し、移住体験ツアーにも参加しました。自然の中で生活し、子育てをしたいと思い、今年の3月に私たち家族は川上村に移住しました。

この夏は毎週のように川遊びに行き、山歩きやバーベキュー、釣り、夏祭りに花火と大忙しでした。

村の方々が、子どもの事を温かく見守ってくださるので安心でき、毎日感謝の気持ちでいっぱいです。



住まいるネット空家バンク事業



【問い合わせ先】
役場定住促進課 TEL 52・0111

ここ数年、空家見学の希望者も増えていきます。しかし、紹介できる空家が少なく、また大規模な改修をしないと住めないなどの課題があります。御親戚、又は知人の空家をご紹介ください。

こんにちは 保健師です



食欲・芸術・スポーツの秋と言われるように、気候も良く楽しい季節がやってきました。

「花粉症」といえば、春のシギ・ヒノキに想像される方も多いと思いますが、秋にもブタクサ、ヨモギなどの花粉症があり、ご存知の方もおられるかと思いますが、「風邪がなかなか治らない」と感じている場合は花粉症の可能性もあります。くしゃみや鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどがあれば、花粉症を疑ってみてもいいかもしれません。

ただし、秋に飛ぶ花粉は春とは違い、飛散量が少ない上に、飛散範囲が広くないので、その植物が生えている場所に近づくかないようにすれば発症を防ぐこともできます。

一方で、季節の変わり目であるこの時期は、気温の変動が大きいので、「寒暖差アレルギー」と言われるものが発症しやすくなります。

これはアレルギー物質によって引き起こされるわけではありませんが、アレルギー性鼻炎と同じような症状が出ます。ただ、熱が出ないのが風邪やアレルギーとの違いで、自律神経の誤作動によるものだと言われています。若年者から高齢者まで幅広い年代の方にみられます。

環境の変化、特に冷・暖の変化が原因で自律神経に作用して起こりますが、必ずしも発症するわけではありません。お風呂にゆっくりと浸かったり、十分な睡眠をとったり自律神経の働きを整えることも予防には有効です。服装を工夫して簡単に着脱できるように重ね着することや適度な運動も効果があります。すでに症状がある方も、規則正しい生活をすれば治りやすくなります。

ただ、鼻づまりなどつらい症状が長引くようであれば、放置せず、早めに医療機関を受診しましょう。



インフルエンザ予防接種について

～診療所と村外医療機関での対応～

高齢者の方のインフルエンザ予防接種について

川上診療所で	村外医療機関で	予防接種を受ける場所
◎接種日に診療所窓口でお支払いください。 《接種料金》 1,500円 ※償還払いはありません。	◎接種費用全額を医療機関の窓口でお支払ください。 接種後、「助成金2,000円」を償還いたします。 ※接種費用は医療機関で異なります。	接種費用
また、接種当日、川上村に住民登録がある満60歳以上65歳未満の方で次のいずれかに該当する人も対象となります。 ◆心臓・腎臓もしくは呼吸器の機能に一定の障害がある人 ◆ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害がある人（身体障害1級に相当）		申込期間及び実施時期
◎申込期間 11月2日（月）まで 広報折込みの用紙に必要事項を記入し、診療所窓口でお申し込みください。 ※電話での受付はできません。郵送申込は可能。 《接種実施日》 11月12日（木）、17日（火）、18日（水）、27日（金）の13時30分から15時の2回実施。 ※18日（水）は小・中・高校生の接種を優先します。 ※1日あたり約150名の接種を予定。	◎実施時期 10月15日（木）～12月31日（木） 《手続きの流れ》 ① 住民福祉課窓口で申請書類を受け取る。 ② 接種を希望する医療機関へ各自で予約する。 ③ 申請書類を持参し、予防接種を受ける。 ④ 住民福祉課へ下記の必要書類を提出・申請する。 ⑤ 「助成金2,000円」を口座に振り込みます。 ※申請手続きは、平成28年1月29日（金）までに済ませてください。 《注意》 ◆医療機関によって接種料金は異なります。事前にご確認ください。 ◆川上診療所を除く医療機関が助成の対象となります。 申請の際に持参してもらう物 ・申請書兼請求書（捺印が必要です） ・領収書 ・振込先がわかるもの（通帳のコピー） ・予診票（市町村控え）	【問い合わせ先】 役場住民福祉課 TEL 52・0111 川上診療所 TEL 52・0344

のびっ子広場

10月21日（水）「絵本を楽しもう」

お話の会々さん

11月4日（水）ニコニコマザールーム

11月11日（水）「おやつ作り」伊藤先生

時間 午前10時～11時30分

持ち物 お茶・タオルなど

【問い合わせ先】

やまぶき保育園 TEL 52・0019

役場住民福祉課 TEL 52・0111

高齢者以外の方の インフルエンザ予防接種について

川上診療所で 接種する場合

接種費用

小学生～高校生 1、500円
(小学生は原則2回接種)
18歳(高校生を除く)～64歳 3、500円

※乳幼児は、かかりつけの医療機関で接種ください。

申込期限 11月2日(月)まで

広報折込の用紙に必要事項を記入し、診療所窓口でお申し込みください。

※電話での受付はできません。

※郵送申込は可能。

※償還払いはありません。

【問い合わせ先】

川上診療所

TEL 52・0344



村外医療機関で 接種する場合

生後6ヶ月～就学前の乳幼児の場合は全額を、小中高生は1回につき2、000円(上限)を年度2回まで償還払いします。各自で医療機関に予約して、接種を受けてください。

申請の際に持参してもらう物

～申請の際に必要なもの～

◆印鑑

◆領収書

◆振込先口座がわかるもの
(通帳コピーなど)

◆母子健康手帳(乳幼児)

【問い合わせ先】

役場住民福祉課

TEL 52・0111



検診結果説明会のご案内

検診結果説明会では検診結果の見方や、医師・専門職員による健康についての話、相談等を予定しています。検診の結果は自分自身の健康上の問題点を教えてくれる大切な情報源です。ふだんの生活に役立てて健康な毎日を過ごすためにもぜひご参加ください。

とき	受付時間	ところ
10月20日(火)	9時～10時	柏木生活改善センター
	10時30分～11時30分	武木公民館
	13時30分～14時30分	大滝生活改善センター
10月21日(水)	9時～10時	西河公民館
	10時30分～11時30分	東川公民館
	13時30分～14時30分	北和田ふれあいセンター
10月22日(木)	個別相談 ※事前予約が必要です	川上総合センター 2階研修室

検診の結果は説明会でお渡しします。当日は健康手帳をご持参ください。※結果説明会に来られなかった方には、説明会以降に結果を郵送します。※ご不明な点は、役場住民福祉課までご連絡ください。

【問い合わせ先】役場住民福祉課 TEL 52・0111

毎朝8時20分からケーブルテレビ(11ch)で家庭で出来る様々な体操を放映しています。10月は「らくらく健康体操(足・腰)」で11月は「誤嚥にナラン!体操」です。

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわかみ満足ガイド

匠の聚

◆川上村発行の地域振興券が使えます!◆

●匠と過ごす秋～【山のふえすた】開催!

匠の聚に暮らす作り手とおしゃべりしたり、音楽やグルメを楽しんだり…。

ものづくりのワークショップも満載!

ワクワク楽しい2日間。

と き 平成27年10月31日(土)～11月1日(日)

じかん 各日 10時～17時

ところ 匠の聚

※詳細は専用のチラシをご覧ください。

●匠と創る!文化講座

「日常使いの器づくり」受講生募集!

講師 鈴木雄一郎・鈴木智子

じっくりと器づくりに向かい合って、つくる楽しさと使う喜びを感じてください。

●カタチをつくる。

【電動ロクロ】

10月22日(木)、23日(金)、11月5日(木)

各日 10時～15時(指導 いにま陶房 鈴木雄一郎)

【手びねり】

11月6日(金)、12日(木)、13日(金)

各日 10時～15時(指導 いにま陶房 鈴木 智子)

●焼き上がった器を楽しむ。

11月26日(木) … 11時～14時

最終日は、焼き上がった器と共にみなさんと簡単なお食事会をします。

(食事代金は受講料に含まれます。)

◆参 加 費 13,000円(税込・材料費別)

(焼き上がりの器の重さ100g 50円 ※全7回受講)

◆と こ ろ 匠の聚

◆申込み締切 10月20日(火)

※定員に達した時点で受付を終了します。

●フォトコンテスト入賞作品を展示します。

川上村の自然風景や人々の暮らしをテーマにしたフォトコンテストで、入賞された力作を匠の聚に展示いたします。ぜひご覧ください。

と き 平成27年10月24日(土)～11月10日(火)

※展示期間中の水曜日は休館です。

じかん 各日 10時～17時

ところ 匠の聚ギャラリー

■お申込み・お問合せ■

《匠の聚 TEL 0746-53-2381》

ふるさと市開催日

【10月】18日・25日

【11月】1日・3日・8日・21日・22日・23日・29日

《役場地域振興課 TEL 0746-52-0111》

森と水の源流館

■源流学の森づくり(ボランティア)

20年ほど前に伐採され、再生しつつある天然林を立派な源流の森に戻すべく試行錯誤しています。

山小屋を拠点に除伐したり、作業歩道を補修したり、土留めや獣害防止について考えたり、森を整備します。

と き 平成27年10月25日(日)

じかん 9時～17時

ところ 源流学の森(森と水の源流館集合・解散)

定 員 10名 小学生～

《森と水の源流館 TEL 0746-52-0888》

山の学校 達っちゃんクラブ

★達っちゃんクラブの森を作ろうDAY

東川・匠の聚にある達っちゃんクラブの森の草刈りや遊歩道の整備を行う作業日です。

「遊びと学びと芸術の森」を目指し、一緒に森を作りましょう。

と き 平成27年10月24日(土)

定 員 制限なし

対 象 幼児以上

参加費 無料

締切り 9月24日(木)

※締切は終了していますが、参加可能ですのでお問い合わせください。

★筏場ハイキング

山々の紅葉を楽しみながら筏場の川沿いをハイキング。ハイキングの後には、ほっかほっかの焼き芋が待っています。

と き 平成27年11月14日(土)

定 員 30名 小学生以上

参加費 大人1,500円 小人500円

コース 往復約2時間程の高低差の少ない初心者向けコース。

締切り 10月14日(水)

※締切後も参加可能な場合もございますのでお問い合わせください。

申込み 住所・氏名・電話番号・参加人数を電話・はがき・FAX・メールいずれかでお申込みください。

【問い合わせ先】

《一般財団法人グリーンパークかわかみ事務局

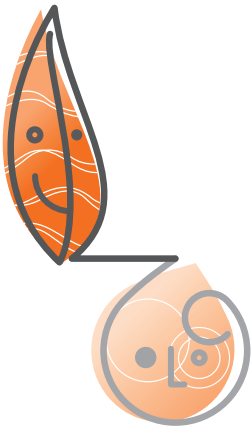
TEL 0746-52-0333》

23

森と水の源流館だより

October, 2015 vol.154

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)



残しておきたい川上村の山言葉 其の七十

「こち（東風）」… 伊勢方面よりの風で、大雨、洪水となる場合が多い。
台風の時に吹く風。木のてっぺんのこと。

※川上村の方言や意味、使い方などについてのご意見をお待ちしています。



9月の水源地の森

9月15日に奈良県観光アンバサダーのブライアン・バイアーさんが「吉野川源流―水源地の森」はじめ、川上村のあちこち取材に訪れてくれました。ブライアンさんは、明神の滝で滝壺に飛び込みました。彼の川上村の記事を読むと、「冷たかったけれども、ハイキングの後の水浴びはとてもしフレッシュできた」そうです。ブライアンが見た川上村は、国道を少し入るといえることができる「自然のテemapark」だそうです。

9月の水源地の森

9月になると気の早い木々は紅葉や黄葉するものもあらわれました。淵には落ち葉も見られるようになる季節です。夏にも葉は落ちますが、青葉。川を流れる葉の色でも季節の移ろいを感じます。



明神滝の滝壺に飛び込んだブライアン氏

ハイキング、釣り、カヌー、洞窟探検、古い旅館に古い町並み、古民家を改装したゲストハウスと彼の目にはいずれも魅力的に映ったそうです。心配していた登山道の歩きやすさも、「とても歩きやすい」と言ってくれました。それから、道の駅肉うどんのファンにもなっていて強く宣伝してくれていました。
普段身近にあるものを、外国人の視点から評価していただいたことがとても新鮮でした。
詳しくは、Japan Travelの

ウェブページの記事(英語)でご覧いただくことができます。



ミカエリソウが咲きはじめました

環境にやさしい有機農薬を配布します(1人様いづれか1本限り)

川上村環境基本計画・環境クラブ活動「川ばたみーていんぐ」(川上村商工会女性部を中心とするグループ)で「トウガラシの実」と「アセビの葉」からそれぞれ抽出した有機農薬(虫よけ剤)を作りました。

(数量は少ないですが、使ってみたい興味のある方は森と水の源流館へお立ち寄りください)

11月15日(日)は入館料無料です

森と水の源流館は「関西文化の日」に参加しているため、当日は無料でご入館いただけます。ぜひこの機会に、ご観覧ください。

みんなで考えよう！川上村の環境

その64 ～吉野川の景観・水質保全に効果的な取り組みを促進します～



活動推進の基本目標

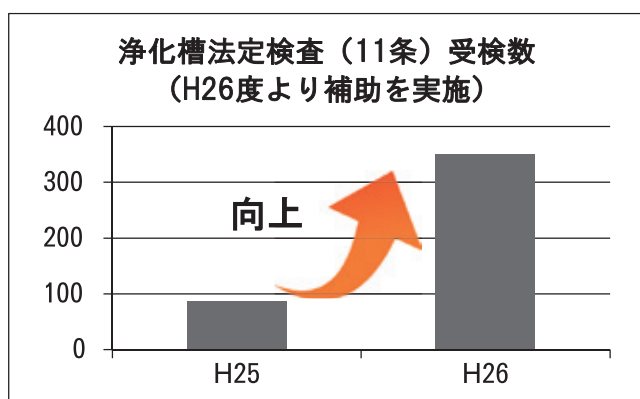
1. 自慢の種（自然資源）を守り育みます。
2. 自慢の種と調和する快適・安全な環境を育みます。
3. 持続可能な仕組みを育みます。
4. 地球環境に対する人類の働きかけの素晴らしい見本となることをめざします。

◎浄化槽に関する取り組みの成果について

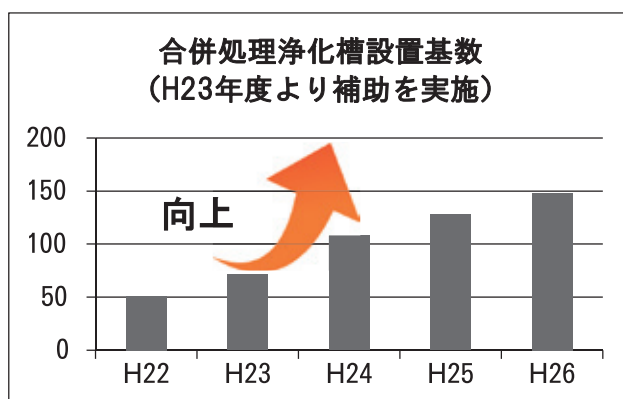
川上村では、吉野川の水質向上に向けて、浄化槽の適正な維持管理の促進や合併処理浄化槽の設置の際に補助を行っています。

皆様方のご協力のおかげで、以下のように大きな成果が現れています。

今後も引き続き、水質浄化に効果のある取り組みにご理解とご協力をお願いします。



浄化槽設置者に義務付けられた管理のひとつです。
低かった法定検査の受検率が大幅向上！



生活排水の全てを処理するのが合併処理浄化槽です。
平成22年と比べると約100基の設置が増え、現在148基が整備済み。

◎補助金の申請方法が変わります！

平成27年度より、「浄化槽維持管理費補助金」の申請手続きを簡略化をします。

申請の受付期間は以下のとおりです。

※詳しくは、広報かわかみ11月号でお知らせしますのでご覧ください。



対象者に申請書を郵送します

【問い合わせ先】

役場水源地課 TEL 0746-52-0111



第7回 吉野川紀の川流域学習会

大和ハウス工業創業者

故石橋信夫氏の功績を学び、郷土を知る。(バスの旅)

お昼はっランチ &
 禁膳ランチで、
 身体と心に
 おいしい時間

毎年恒例となりましたこの学習会。

昨年は「全国豊かな海づくり大会」に向けた「水の恵み見届け隊」でも
 たくさん水の届くところを訪ねて巡りましたので
 今年度は、少し視点をかえて実施します。

川上村は、土倉庄三郎に代表される
 世界でも名の知れる偉人のふるさとです。
 その歩みと功績をいっしょに学び
 わが郷土について考える新企画です。

☆日 時 11月16日(月)

☆定 員 先着順 40名

☆参加費 おひとり 2,500円
 (食事代込み)

8:00 川上村役場前 集合・出発

～奈良市左京

大和ハウス工業株式会社総合技術研究所

石橋信夫記念館(見学)

～京都府精華町 けいはんなプラザ

レストラン「ラ・セーヌ」(昼食)

～旬の駅ならやま(お買物)

17:30ごろ 川上村役場前着

※時刻・内容は予告無く変更する場合があります。

【申し込み・問い合わせ先】 森と水の源流館 TEL 52-0888

「源流まつり」&

「しらすまつり」

見学ツアー参加者募集

川上村で例年開催している「源
 流まつり」が、今年は和歌山市の
 「しらすまつり」に出展し、吉野
 川紀の川流域の物産販売などを
 行います。「しらすまつり」では、
 紀の川の豊かな水で育った和歌浦
 のしらす井や海産物など、海の恵
 みのお買い物もしていただけます。

皆さんのご参加をお待ちして
 おります。

と き 11月3日(火・祝)
 申込締切 10月23日(金)
 定 員 40名(申し込み多数の
 場合、抽選となります)
 参加費 1人 1,000円
 行 程 川上村役場出発、バス
 にて和歌浦漁港へ。
 しらすまつり見学後、
 川上村役場へ帰着。

右記内容は、天候不良などに
 より変更する場合があります。

【申し込み・問い合わせ先】

役場水源地課

TEL 52-0111

吉野川・紀の川流域協議会 「水環境に関する講演会」の開催について

と き 11月7日(土) 13:30~15:00
 ※参加費無料

ところ 高野町 中央公民館
 (和歌山県高野町高野山486)

演 題 「生き物の【多様性】に学ぶ流域再生へのヒント」

講 師 山田 健氏

主 催 吉野川・紀の川流域協議会

【問い合わせ・申し込み先】 水源地課 TEL 52-0111

川上村を磨こう！

ボランティア連絡協議会では、毎月0(ゼロ)
 のつく日にゴミ0(ゼロ)をめざす活動をしてい
 ます。会員でない方も是非ご参加ください。

と き 10月17日(土) 午前8時30分集合

ところ 大迫ダムから不動窟間 大迫ダム集合

持ち物 軍手・火ばさみ・手鋏・鎌等

【問い合わせ先】 ※当日少雨決行

ボランティア連絡協議会事務局 TEL 52-0294

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

特選

蝸や日のある限り畑仕事

上田 一郎 (伯母谷)

特選

来客の布団乾し夏終る

栢 恭子 (東川)

特選

大根蒔く幾度初心に帰る

住川 準典 (武木)

佳作

草虱避ける身支度鎌を手に

阪本 蓉子 (東川)

入選

食べ終へしスイカの皮の薄きこと

望月 彰美 (迫)

台風の反れよ反れよと祈りけり
外灯の下に谷蟻岩のごと
遅速ある実りの色や稲の秋

上田 明子 (北塩谷)
弓場 盛正 (中奥)
辻井 清子 (大滝)



川上俳句会

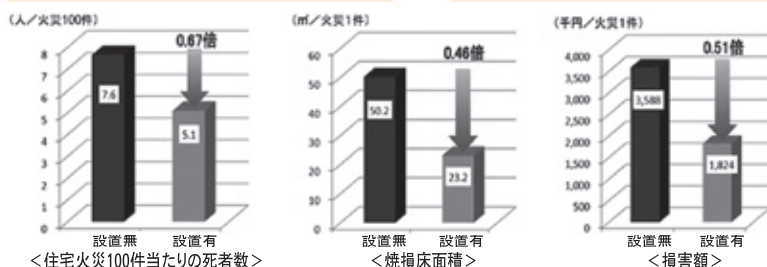
吉沢紀子選

知ってください！ 住宅用火災警報器の効果を!!

H20年からH22年までの3年間における、失火を原因とした住宅火災42,040件※について、火災報告を基に、住宅用火災警報器の効果を分析。

死者数、焼損床面積、損害額で見ると、住警器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ被害状況が概ね半減。

住警器が設置されれば、火災発生時の死亡リスクや損失の拡大リスクが減少。



日本に先立って義務化を進めた米国では、1970年代後半には火災によって約6,000人の死者が発生していましたが、住宅用火災警報器の普及率の上昇に伴って死者数が減少し、普及率が90%を超えた近年では死者数がピーク時から半減(3,000人弱)という効果が現れています。

日本においても、警報器を設置していた家庭における奏功事例が多数報告されていますので、まだ設置していない家庭は、早急に設置しましょう。そして、警報器を取り付けてある家庭においても、電池切れ等に注意し、定期的な点検を行いましょう。

奈良県広域消防組合 吉野消防署 TEL 0746(32)1011

秋の行政相談週間

10月19日(月)～25日(月)

行政に対するあなたの苦情を解決する手助けをいたします

10月19日～25日は、「秋の行政相談週間」です。行政相談委員が、国や役所の仕事に対する苦情や意見・要望を受け付けます。

川上村行政相談会

とき 平成27年10月19日(月) 10時～12時

ところ 役場会議室
相談員 行政相談員 小西 都氏

お誕生日おめでとう！「ますます元気に大きく育ってね」

広報の発行月に誕生日を迎える小さな子どもたちを紹介していきます。
子どもたちは村の宝です。皆さん大事に見守っていきましょう。(敬称略)
※年齢表記は今月の誕生日で迎える年齢を記載しています。



ほりたに こと は
堀谷 琴羽
(平成26年10月3日生まれ・1歳)

お兄ちゃんが大好きな琴羽ちゃん。喧嘩もするけど仲良しで、見ていると微笑ましいです。



まる い かえで
丸井 楓
(平成25年10月2日生まれ・2歳)

2歳のお誕生日おめでとう!!これから笑顔いっぱいのお楓ちゃんできてね♡



うめもと そら
梅本 碧良
(平成24年10月17日生まれ・3歳)

意地悪な碧良、泣き虫な碧良、甘えん坊な碧良、おしゃべりな碧良…。どんな碧良も大好きです。



えのきだ つつみ
榎田 つつみ
(平成23年10月24日生まれ・4歳)

いつも元気なつつみちゃん。泣いたり笑ったり、色んな経験をして大きくなつてね。

HAPPY BIRTHDAY

川上村では、明るい林縁や登山道沿いなどで見かける。特に西部に多いように思う。

カナダギンキ (鉄釘の木)



かわかみの草花

村の人口

9月30日現在

人口総数 1,557人 (－5人)
男 744人 (+1人)
女 813人 (－6人)
世帯数 846世帯 (－2世帯)

9月中の異動

転入 4人 転出 7人
出生 0人 死亡 2人

阪口	西川	柏崎
和子	あや	すな子 (北和田)
(大滝)	(西河)	
9月21日	9月12日	9月5日
90歳	91歳	83歳

おくやみ (敬称略)

奥大和 ゆうゆう祭 10/24・25日

10時～15時
メイン会場
宇陀市総合体育館
※近鉄榛原駅から徒歩10分
シャトルバスあり

ステージ

ゆるキャラ大集合や地元中学生による吹奏楽演奏(24日)、和太鼓演奏(25日)が会場を盛り上げます。



うだ・アニマルパークや奈良カエデの樹ひさぎでもイベントを同時開催!!

奥大和物産展

県南部・東部地域のうまいものや特産品が一堂に集まります!

体験イベント

宇陀松山地区散策や室生寺で写経体験、車いすスポーツ体験(24日)、温泉体験など楽しめるイベントが盛りだくさん。

※宇陀松山地区散策・室生寺写経体験は要事前申込

奥大和スイーツコンテスト

地域の食材を使ったスイーツを食べ比べよう! 25日のみ

問 南部東部地域活性化イベント
開催協議会(県南部東部振興課内)
☎0744-48-3015

